県民の友 2月号

平成８年［1996年］

発行 和歌山県知事公室 広報公聴課 〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎0734(32)4111

県民の友 No.690

2月のこよみ
- ●省エネルギー月間　1日～29日
- ●成人病予防週間　1日～7日
- ●北方領土の日　7日

訓練を重ねる防災航空隊

災害に強い県をめざして

昨年の十月に発足した「和歌山県防災航空隊」。

各種災害での被災者の救出や物資の搬送、避難誘導、空中消火、水難事故や山岳遭難事故での捜索、救助など幅広い活動を行います。

運航開始となる新南紀白浜空港の開港まであと一カ月余り。訓練にも一段と力が入ります。

災害が発生した異常事態や一刻を争う緊急事態など、どのような状況下におかれても、冷静な判断力を失わず、安全・確実・迅速に行動できるように、体力、気力、技術力を養います。

隊員たちの動きの一つひとつが、人命に直結するという重大な任務。

救助救出訓練を、何度も、何度も繰り返します。

阪神・淡路大震災を教訓に、県では、地域防災計画の見直しを行い、防災航空隊の設置や緊急情報衛星同報システムの整備、毛布や食料など災害救助物資の備蓄の追加、学校施設の耐震強化など、さまざまな防災施策を講じています。

また、地震情報の迅速な把握による初動体制の確立を図るために、県下の全市町村に計測震度計を設置し、地震情報のネットワークづくりを進めています。

国、県、市町村、地域が連携して、災害に強い県づくりに取り組んでいます。

県議会だより　十二月定例会より

西口知事　決意表明
百八万県民の幸せのために
和歌山県政の限りない発展のために

県議会十二月定例会は、十二月六日から十二月二十一日までの十六日間にわたって開催され、平成七年度一般会計補正予算案などの予算案件のほか、県議会議員四十七名と知事の「資産等の公開に関する条例案」などの条例案件等二十七件が原案のとおり可決されました。また、継続審査となっていた平成六年度公営企業決算を認定するとともに、「平成六年度和歌山県歳入歳出決算の認定について」は決算審査特別委員会の設置、委員の選任が行われ、閉会中の継続審査とされました。

なお、請願については二件が不採択、八件が継続審査とされました。

質疑、一般質問は、十二月十二日から十五日までの四日間にわたり、十四人の議員が登壇し、県政各般にわたる諸問題について活発な論議が展開されました。

以下、主な質問と、これに対する知事や関係当局の答弁の要旨は次のとおりです。（要約抜すい）

西口県政の基本的理念、なすべきことを伺いたい

県政の基本は、和歌山に住んでいるすべての人々が、どの地域にあっても、どの立場にあっても、和歌山に住んでよかった、と言えるような心温まる和歌山県を確立していくことであり、県政究極の目的であると考えています。「責任ある県政」「心かよう県政」「大胆で思い切った清新の県政」ということを政治姿勢として、「開かれた県政」の実現に努力し、県民の皆様にとってわかりやすい県政を推進したいと考えています。また、一三六プロジェクトについては、これに入っていないからやらないという性格のものではなく、関係部局でさらに検討を加え、修正すべきものは修正し、できるものから速やかに着実に実行していきたいと考えています。

みかん対策（ウルグアイラウンド農業合意関連対策大綱に基づく）について伺いたい

国では価格安定対策及び生産対策を柱に、総額七百五十億円程度の果樹対策を六カ年で実施されることになりますので、県といたしましては、積極的にこれを導入し、本県みかん農業の体質強化を図っていきます。

ＪＲ阪和線高架化について伺いたい

連続立体交差事業による場合は、交差道路数、交通量の要件のほかに、周辺の区画整理などの面整備を進めている必要があります。和歌山市の積極的な対応が不可欠となりますので、市の意向を踏まえて今後研究していきます。

本補正予算中、インターネット利用推進事業をどう具体化するのか伺いたい

産業情報基盤の整備という位置づけのもと、情報発信力の強化を図るための中小企業情報センターに商用ネットを接続しまして、県内の企業が持つ独自の製品情報、技術情報を二十四時間、国内外へ発信することを支援していきます。

第二阪和国道、新南海橋（仮称）の早期整備について伺いたい

国道について、特に用地買収を担当している和歌山市のご努力を得ながら、早期完成を実現するため「和歌山北バイパス事業連絡調整会」を設け建設省、県、市が連携を密にし、進めています。橋梁について、着手時期については、平成八年度の用地取得の状況を勘案のうえ、早期に着手する予定と聞いています。

紀南の地域振興について伺いたい

交通体系の整備をインパクトに自然ややすらぎを志向する都市住民に熊野の自然資源、歴史文化資源をＰＲし、観光・リゾート産業の振興を図ることが重要であると考えています。

街づくり、特に「新都心構想」に関する諸問題について伺いたい

紀泉地域は、近年の関西国際空港の開港、近畿自動車道紀勢線、府県間道路の整備によって基盤整備は格段に進んできました。さらに、太平洋新国土軸の推進、関西国際空港の全体構想の実現、和歌山下津港の整備等によって国内外に開かれた交通の結節点となり今後の発展が大いに見込まれます。この地域を「みどり」で結ばれた都市圏としてとらえ、大阪府とも連携を図りながら「世界都市関西」の新しい都市圏の創生を考えています。

日米地位協定の見直しを問う

先般九月定例会において、我が国に対し不利益を強いている日米地位協定の早期改正を求める意見書が議決され、議会の方から国に対しての要望がなされました。私も議会の皆様方と全く同じ意見でございます。

紀北地方の交通施策体系について伺いたい

京奈和自動車道のうち橋本道路は、用地買収が進められています。紀北東道路、紀北西道路を含め整備促進に努力します。国道三七一号の橋本バイパスについては、地元協議及び用地買収を促進しています。紀の川から高野山へのルートで、仮称清水市脇架橋の必要性は、認識しています。高野山までのルートについて、関係市、町と協議中です。

女性の地位向上と県幹部登用の目標及び育成計画について伺いたい

人間の能力は男女の区別によって規定されるべきものではなく、男女がともに個性と能力を活かしてこそ調和のとれた社会が形成できる。これを基本理念として、審議会等への女性委員の登用率を現在の十％から平成十二年には三十％に増やしていくのを目標にしています。女性職員の県幹部登用について適材適所を基本にこれまで以上に積極的に行っていきます。まず職場研修を通じて職員の意識改革を行うとともに、役付きにすることによって能力開発を行い、さらに管理職としての訓練を行いながら、順次、県幹部として登用していきます。

紀の川流域の農業振興について伺いたい

国の「新政策」に地域の農業者や学識経験者の意見をいただき二〇一〇年を目標とした「人と基盤」の整備に重点を置いた「二十一世紀農業振興計画」を本年五月に策定しました。この中で、当地域は、大都市圏に近いという特性を生かした野菜、花の施設園芸などによる都市近郊型農業の推進、桃や柿を主体とした落葉果樹産地の育成を図っていくこととしています。これらの実現を図るため、農道や園地改良などの生産基盤の整備や農家の近代的な資本整備を進め、さらに、ウルグアイラウンド国内対策を有効に取り入れながら実施したいと考えています。

同和対策について伺いたい

行政責務と国民的課題であるとの基本認識のもと同和対策を積極的に推進してきましたが、一部の地域における住環境整備や、中高年齢層を中心とした不安定就労、産業の振興、教育・啓発等の面において課題が残されていることも事実であります。現行の地対財特法の期限が一年三カ月と迫った今日、これらの課題解決のため、より積極的に推進するとともに、昨年県が実施しました同和地区実態調査の結果等を踏まえ「今後の同和対策のあり方」をできるだけ早い時期に示したいと考えています。

同和連載

他人を大切にする

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子供たちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。

橋本市　城山小学校六年　谷口雄輔

何年か前に松茸がとても高いということをテレビで見てお母さんにたずねたことがあります。

「どうして、松茸は高いの？。」

お母さんは、

「とれる数が少ないから貴重なのよ。」と言いました。ぼくは、数が少ないものはなんでも貴重なのかなと思って

「じゃあ、ぼくはこの世に一人しかいないのにどうして貴重じゃないの。」と聞きました。お母さんはおどろいたように、

「お父さんやお母さんにとったら一番大切なのよ。」と言いました。この世にはたくさんの人間がいますが、一人一人はこの世に一人しかいません。だから一人一人はとても大切なはずです。それなのにおたがいにいじめあったり、きずつけあったりします。ぼくはそれが不思議でたまりません。ぼくはお父さんやお母さんにとっては大切な人でもほかの人にとってはそうじゃないのかもしれません。みんなが他の人のことを自分の家族のように思えばもっと他の人を大切に思えるようになるかもしれません。

いじめはいじめられる方にも原因がありますがやはりいじめる方が悪いのです。なぜならいじめられる原因があるからといっても心から大切に思っている人のことはいじめたりはしないからです。いじめる人は相手のことを大切に思っていないからあいつにも原因があるといっていじめたりするのです。いじめは人の心に差別の気持ちを生みます。いじめられている人をみて、あいつにくらべたら自分はまだましやなあとかいう気持ちです。それは江戸時代に農民が自分より身分の低い人たちを見て自分たちのほうがまだましだと感じたのと同じことだと思います。それにいじめられた人がいじめた人のことがいやだからあいつは低い身分のやつやなあとか全く関係のないことを言ったりしたら、それこそ本当に差別になります。人は背が高かったり、低かったり、性格が明るかったり、おとなしかったりいろんなちがいがあります。でもそのちがいを悪くいったりするといじめや差別になると思います。他人のことを本当の家族のように大切に思ってぼくはいじめや差別をしないよう努力していきたいです。

お気軽にどうぞ

交通事故相談

［常設相談］月～金曜日（東牟婁県事務所は水曜日を除く）

場所　県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

［弁護士による相談］●県庁交通事故相談所　毎月第１、３月曜日●東牟婁県事務所　毎月第１、３金曜日　受付　午後１～３時

［巡回相談］●伊都県事務所　２月28日　●西牟婁県事務所　３月13日　受付　午後３時まで

県民相談

［常設相談］月～金曜日

場所　県庁県民相談室、各県事務所

［弁護士による法律相談］毎月第２、４金曜日

受付　午前９～11時　場所　県庁県民相談室

［移動相談］●中辺路町町民会館　２月21日　●那賀町総合センター　３月１日　受付　午後１～３時

＊くわしくは県庁県民相談室☎(0734)41-2359（交通事故相談）、41-2356（県民相談）へ

おしらせ

県庁・県教育委員会は〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32−4111

募集

県政モニター

対象 県内在住で、県政に関心のある20歳以上の方。ただし、公職選挙法により選任された公職にある方、公務員、県政モニター経験者は除きます。
定員 150人
任期 平成9年3月31日まで
応募方法 ハガキに住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号、県政について関心のある事柄を記入し、3月1日までに県庁広報公聴課へ
くわしくは応募先へ

県消費生活モニター

対象 県内在住で、消費者問題に関心をお持ちの20歳以上の方
定員 100人
任期 4月から平成9年3月31日まで
応募方法 ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、応募理由を記入し、和歌山県消費生活モニター申込書と朱書きして、2月23日までに県庁県民生活室へ、パソコン通信「ウエーブネット」による申込みもできます。
くわしくは応募先へ

県営住宅、特定公共賃貸住宅入居者

宮前駅前団地（和歌山市北中島）
●県営住宅＝26戸
申込用紙配布 2月5日〜3月1日
受付 3月4、5日
●特定公共賃貸住宅＝3戸
申込用紙配布 2月5〜27日
受付 2月28日〜3月5日
くわしくは県住宅供給公社☎（0734）25−6885へ

県子ども・障害者相談センター入所（通所）者

資格 身体障害者手帳の交付を受けている15歳以上の肢体不自由の方で、日常生活が一人でできる方
募集科目 ワープロ科、パソコン科（初歩的入門コース）、自動車運転科
定員 入所30人、通所14人
申込 2月20日までに各市町村役場へ
くわしくは申込先、各県事務所民生課、県子ども・障害者相談センター☎（0734）45−5311へ

技術講習会

資格 就職を希望する女性
科目・開催地 ①経理事務（3級）・和歌山市 ②パソコン・龍神村
開催日 ①4月5日〜6月7日の水・金曜日、4月8日、5月13日、6月3日 ②4月3日〜5月2日の月〜金曜日
定員 ①30人 ②20人
受講料 無料（教材費は自己負担）
申込先・受付期間 ①女性就業援助センター☎（0734）33−1181・3月6〜8日 ②龍神村役場観光課☎（0739）78−0111・3月4〜6日
くわしくは女性就業援助センター又は申込先へ

平成8年度「田辺紀の国長寿大学」受講生

資格 県内在住の60歳以上（平成9年3月31日現在）の方
期間 4月から1年間・月2回
場所 田辺市
受講料 無料
申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢、生年月日、性別を記入し、3月11日までに〒640和歌山市小松原通1−1−11大岩ビル6階㈶県いきいき長寿社会センター☎（0734）24−2141又は〒646田辺市湊1619−3田辺市福祉センターやすらぎ対策課☎（0739）26−4902へ
くわしくは申込先へ

㈶東京学生寮の入寮者

資格 東京近辺の四年生大学に入学予定の男子で、保護者が県内に居住している方
定員 一年生＝25人、二〜四年生＝若干人
受付 3月1〜21日（必着）までに必要書類を㈶和歌山県奨学会東京学生寮へ（郵送可）
面接 3月22日 県民文化会館
所在地 調布市佐須町3−16−2（京王線で新宿から約35分）
居室 1室2人用（洋室）
費用（予定） 入寮金30、000円、寮費月額20、000円、食費月額18、500円
くわしくは県教育委員会総務課又は受付先☎（0424）82−2390へ

ごあんない

万葉講座

日時 2月25日午後1時30分〜
場所 片男波公園 健康館多目的室（和歌山市）
講師 永廣禎夫氏（県立桐蔭高等学校校長）
参加費 無料
くわしくは万葉館☎（0734）46−5553へ

確定申告は正しくお早めに

○平成7年分の所得税、8年度分の県・市町村民税、個人事業税の申告の期間は、2月16日から3月15日までです。昨年1年間の所得を正しく計算し、早めに申告を済ませましょう。
所得税の確定申告をすれば、県・市町村民税、個人事業税の申告は不要です。
所得の計算等くわしくは各税務署、県税事務所、各県事務所税務課、各市町村役場税務課へ
○個人事業者の消費税の確定申告書の提出は4月1日までです。
くわしくは各税務署へ

献血ルームの定休日変更

4月1日から、和歌山駅前の献血ルームの定休日が木曜日から月曜日に変わります。
また、現在和歌山血液センターで行っている献血や骨髄バンクの登録受付についても、4月1日から献血ルームで行うことになりました。
ご協力お願いします。
受付時間 成分献血＝午前10時〜正午、午後2時〜5時
全血献血＝午前10時〜午後1時、午後2時〜5時45分

試験

測量士・測量士補試験

期日 5月19日
場所 大阪府ほか全国14都道府県
願書配布 県庁監理課用地対策室、各土木事務所
受付 2月1〜29日までに〒305茨城県つくば市北郷1番 建設省国土地理院へ
くわしくは願書配布先へ

融資

修学資金・就学支度資金を無利子でお貸しします

対象 高校や大学等に就学する母子家庭などの子ども
申込書配布 各県事務所、各市町村役場
受付 3月19日までに各市町村役場母子福祉担当課へ
貸付額などくわしくは県庁児童家庭課、各県事務所民生課（和歌山市の方は市役所児童家庭課）へ

訂正とおわび

12月号に掲載した県立南紀高等学校の学生募集のおしらせに誤りがありました。次のとおり訂正し、おわび申しあげます。
所在地 田辺市学園1−88
衛生看護科
願書受付期間 2月20〜22日
試験日 3月13日
くわしくは県庁医務課又は県立南紀高等学校☎（0739）22−3776へ

拝啓 県民のみなさまへ

阪神・淡路大震災から一年。犠牲者のご家族の方々や、今なお、避難生活を余儀なくされている方々が、どのような気持ちでこの一年をすごされたのかと思うと、本当に心が痛みます。
一年前、私たちは、あらためて自然災害の恐さを思い知らされました。
県でも、地域防災計画の見直しを行い、防災航空隊をはじめとするさまざまな事業により、緊急時に対応できる防災ネットワークの整備を進めています。
大切なことは、誰もがこの大震災の教訓を忘れることなく、災害対策への関心を持ち続けるということです。
「天災は忘れた頃にやってくる」とよく言われますが、忘れることのないように、皆さんも日頃から、万一の場合の備えを心がけてください。
さて、二月になり、県の予算編成作業も大詰めになってきました。
県民の皆さん一人ひとりが、住んでいてよかったと実感できるふるさとづくりのために、知恵を絞っていきたいと思います。

和歌山県知事 西口 勇

催し

県立近代美術館 ☎(0734)36-8690

ひかる・うごく・おとがする
〜20世紀の静かならざる作品たち〜
2月24日〜3月31日 一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円
休館日 月曜日（振替休日の場合は翌日）

県植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「やさしいバラの育て方」2月25日、「盆栽の整枝と植え替え」3月3日、「庭木の病害虫防除」3月10日

電波で結ぶあなたと県政

テレビ テレビ和歌山

きのくに'96	日曜日	午前10時〜
	(再)日曜日	午後10時30分〜
県政フラッシュ	金曜日	午後6時15分〜
県民チャンネル	月〜土曜日	午後8時55分〜
はばたく紀の国	土曜日	午後6時〜

ラジオ 和歌山放送

県民マイク	土曜日	午後2時30分〜
県庁だより	毎日	午前11時40分〜
	(再)毎日	午後6時〜
定期便教育の窓	第2・4土曜日	午後2時15分〜

文字放送 テレモ西日本 511#

紀の国・和歌山情報 毎日 午前6時〜深夜0時

知事への提言ファックス
きのくにホットライン
(0734)41-2020

考えよう 知ろう 語ろう 北方領土

開かれた県政を目指して
行政手続き条例 四月一日施行

県の行政手続きをより公正・透明なものとするための行政手続条例が、四月一日から施行されます。
四月一日からは、
①許可、認可、免許等の申請がその要件に適合しているかどうかを判断するための具体的な基準（審査基準）が窓口に備え付けられますので、許認可等が得られるかどうかの予測を立てやすくなります。
②申請から許認可等までの標準的な期間を示したものが窓口に備え付けられますので、許認可等が得られる時期のめどがたちます。
③不許可処分をするときは、申請者に理由を示しますので、申請内容を変更して再申請するかどうか等の判断ができやすくなります。
④営業免許の停止や取消といった不利益処分を受ける前に、「弁明」又は「聴聞」という手続により、反論をする機会が与えられます。
⑤申請に際して、行政指導を行うことがありますが、この場合には、行政指導により求める内容とその理由、責任者を明確にします。
積極的にご活用ください。

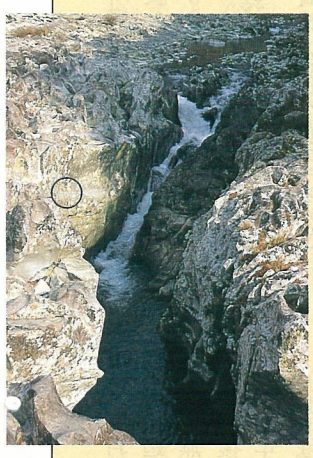
わかやま魅力再発見 あれこれ

自然、風物、伝統、味覚…。和歌山県には、ほかにはない魅力がいっぱい。全国的に有名な景勝地や文化財、特産品などいろいろありますが、意外と知られていない、見過ごされがちなものも数多くあります。

今月号から、そんな県内各地の「わかやま自慢」を紹介していきます。

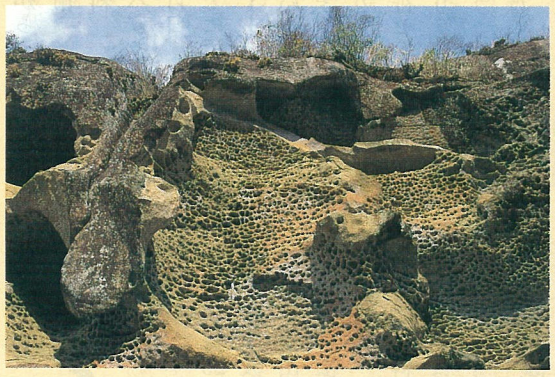
滝の拝・虫喰岩（古座川町）

古座川の支流にある「滝の拝」は、川床すべてが岩床で、大小さまざまな奇形の岩穴と滝から流れる透き通った水が幻想的。（写真左）

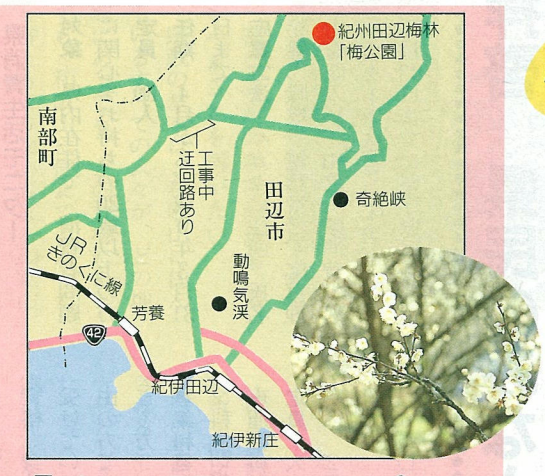


天然記念物「虫喰岩」のハチの巣のように広がる大小無数のくぼみには、思わずびっくり。（写真下）

清流で有名な古座川。その周辺は、一枚岩や天柱岩をはじめとする奇岩巨峰や中国のミニ桂林を思わせる峡谷・鳴滝など独特な景観を楽しめます。



あなたのお気に入りの「わかやま自慢」をお寄せください。場所、風景、建物、特産品など何でも構いません。簡単なコメントと写真を添えて住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、
〒640 和歌山市小松原通1-1
県庁広報公聴課　県民の友
「わかやま魅力再発見」係へお送りください。



「梅公園」オープン

田辺市上芳養石神の「紀州田辺梅林」は、標高300メートルの尾根づたいに梅の花が咲き誇る見事なもの。

２月５日の梅林開きには、「梅公園」がオープンします。

敷地約2,000平方メートルの園内にはあずまや、いす付きのテーブルなどがあり、お花見に最適です。

３月３日までの日・祝日にはもち投げなどのイベントが予定されています。ぜひお出かけください。

くわしくは田辺市観光協会☎(0739)22-5300へ　（田辺市）

ふるさとに凱旋！ ホームラン王 小久保選手

県立星林高校出身で、パ・リーグのホームラン王を獲得した福岡ダイエーホークスの小久保裕紀選手が、一月八日、知事室を訪れました。

西口知事は「これからもどんどんホームランを飛ばして、和歌山のファンや子どもたちに夢を与えてください。」と激励。

小久保選手も「今年は昨年より厳しい年になると思いますが、いっそう努力していきますので応援お願いします。」と、抱負を語ってくれました。

わかやま北南 NEWS

華岡青洲の医療施設を発掘

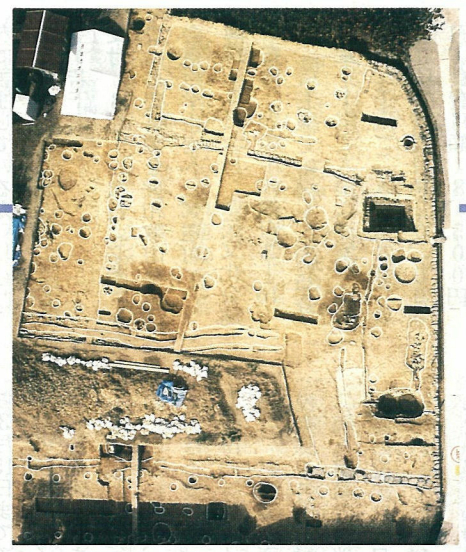
世界で初めて、全身麻酔下での乳ガンの手術を成功させた江戸時代の医師、華岡青洲。

その偉業は全国に伝わり、千八百人を超える医師たちが、現在の那賀町に集まり、青洲の開いた「春林軒塾」で学びました。

その跡地がこのほど発掘され、「春林軒塾」は、居宅兼治療の場である主屋のほか、病棟や製薬、講義を行う建物を備えた本格的な医療施設であることが判明しました。

また、宅地の湿気を防ぐ雨水処理の排水路網や排水の浄化施設、病原菌に配慮した引き出し式と思われる便所、重病人がいることを考えた防火用水など、衛生・防火面にたいへんな費用をかけ、工夫を凝らしていたようです。

江戸時代の医療施設の発掘は日本で初めて。当時の民家には見られないこれらの設備は、華岡青洲の医師としてのすぐれた思想が偲ばれます。（那賀町）



ふるさと百科 シリーズ105

父子二代の慶応義塾塾長 小泉信吉、小泉信三

小泉信吉は紀州藩鉄砲方を務める小泉文庫の子として、嘉永六年（一八五三）名草郡吉田村（現和歌山市）に生まれた。

紀州藩の藩校「学習館」で学び、藩の留学生に選ばれて慶応義塾で洋学を修めた。その後横浜正金銀行副頭取、大蔵省主税官等を経て明治二十二年には慶応義塾塾長に迎えられ、大学部設置のため資金募集、外国人教師の招へい、慶応義塾規約の制定などに奔走した。

その後日本銀行に移り、のち横浜正金銀行支配人を務めた。明治二十七年没、四十一歳。

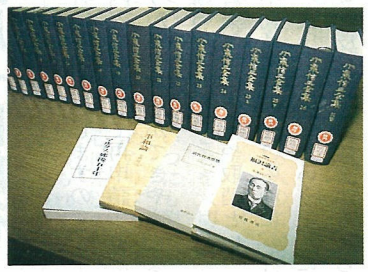
信吉が慶応義塾の基礎を作り、その長男である信三が塾を再興したといわれる。

明治二十一年に生まれた信三は慶応義塾大学を卒業して、欧米各国に留学、経済・教育・行政学を専攻した。帰国後は慶応義塾大学教授となり、昭和八年慶応義塾塾長に推され、二十二年まで在職した。

二十四年、東宮御教育常時参与となり、皇太子殿下のご教育に当たった。二十八年と三十五年の二回、皇太子殿下の随員として欧米各国を巡遊し、殿下のご相談相手としての大役を果たした。

三十四年文化勲章を受章、四十年東京都名誉都民の称号を贈られた。四十一年没。七十八歳。

『社会問題研究』『経済原論』など名著が多く、著書は百冊を超える。



あとがき

寒波が到来した中での防災航空隊の訓練。取材のために乗せていただいた防災ヘリコプターも風で揺れて、貴重な体験となりました。

カメラを持つ手が凍えるほどの寒さでしたが、隊員の皆さんのきびきびした動きは、大変頼もしく感じられました。

寒い日が続きます。風邪などひかないように気を付けましょう。